

〔創造部門〕

1. 氏名 ひの あきひろ
日野 晃博 (ゲームクリエイター
株式会社レベルファイブ代表取締役社長／CEO)
2. 年齢 50歳 (H30.10.19現在)
3. 住所 福岡市 (株式会社レベルファイブの所在地)



【経歴及び選考理由】

福岡の開発会社でメインプログラマー、ディレクターを経て、子供たちにワクワクしてもらえるゲームを作りたいという思いから、平成10年10月にレベルファイブを設立。

世界累計出荷1,700万本を記録した「レイتون」シリーズや、社会現象となった「妖怪ウォッチ」をはじめ「イナズマイレブン」「スナックワールド」各シリーズなどのクロスメディア作品で、企画原案、シナリオ制作、プロデューサーを務め、続々とヒット作を生み出す。

これらの業績が評価され、平成23年にはコンピューターエンターテインメント協会が大きな功績のあった開発者を顕彰する「CEDEC AWARDS2011」ゲームデザイン部門にて最優秀賞を、平成26年にはゲーム産業の発展に寄与したとして「日本ゲーム大賞2014」経済産業大臣賞を、また、平成23年と27年には読者からの投票・販売本数・話題性などを元に、秀逸なゲームソフトやゲームクリエイター、制作会社などを選んで贈られる「ファミ通アワードMVP」を受賞している。

また、氏はゲームクリエイターとしての制作活動に加え、平成24年に福岡県と産学官で組織された「福岡県Ruby・コンテンツビジネス振興会議」では顧問を務めるなど、福岡県のゲーム産業の振興に尽力している。

このように氏は、福岡県を拠点に本県のみならず日本のゲーム産業を牽引し、メディア芸術の向上・発展に大きく貢献している。

<受賞歴>

- ・「CEDEC AWARDS2011」ゲームデザイン部門 最優秀賞 (平成23年)
- ・「日本ゲーム大賞2014」経済産業大臣賞 (平成26年)
- ・「ファミ通アワード」MVP受賞 (平成23年、27年)
- ・第40回「経済界大賞」優秀経営者賞 (平成26年)
- ・福岡ビジネス・デジタル・コンテンツ賞2015 (平成27年)
- ・「ファミ通アワード2014」MVP受賞 (平成27年)
- ・第34回「ベスト・ファーザーイエローリボン賞」経済部門 (平成27年)
- ・第28回「東京国際映画祭 ARIGATŌ 賞」 (平成27年)
- ・福岡市文化賞 (平成27年) など



『妖怪ウォッチ4』



『イナズマイレブン アレスの天秤』



『レイتونミステリージャーニー
カトリーエイルと大富豪の陰謀 DX』

©LEVEL-5 Inc. ©2018 LEVEL-5 Inc.

(参考) 創造部門：個性的・創造的な文化活動を行い、優れた業績を残し、県民文化の向上・発展に貢献したもの